

会社概要	
株式会社ダッドウェイ	代表者 白鳥公彦
設立 1992(平成4)年10月	所在地 東京都高田馬場1-1-1
資本 100万円	TEL 03-3690-3851
従業員数 20名(パート社員等含む)	FAX 03-3691-3842
URL http://www.dadway.com	郵便番号 107-0005

「日々是決戦」。油圧、空気圧機器部品を主に、各種金属部品の製造、組み立て設計を行う三正工業の二代目社長・岸秀世司氏がここ数年間とつてきた行動は、まさにこの言葉がピッタリである。

創業者である父の他界を機に六年前に三八歳で社長に就任したのだが、それは同社存の秋(とき)でもあった。

赤字を抱えただえ就任後二年で

計三五〇〇万円の不渡りを蒙ったのだ。

「倒産してもおかしくない状態でした。後で知ったのですが『三正はもうもたない』という噂まで出でていたそうです。その時思ったのは、どうせ潰れるのなら死ぬ氣でやれるだけやつて、結果がダメなら仕方ないと。当時、協力工場が約五〇社あつたのですが、それらの企業に迷惑をかけたくない思いと、社員に何とか稼いたいという一念でした」

## CASE④ ダッドウェイ パパの子育て参加で多様化する育児用品市場

育児を楽しむ父親が増えている。最近はベビーショップでも育児用品のカタログを手にした会社帰りの若いお父さんの姿をよく普通に見かける。育児雑誌なども父親を意識した誌面づくりをしている。

企業に子育て支援の計画策定を義務づけた次世代育成支援対策推進法(次世代法)が施行されたのが二〇〇五年。最近はこれに残業を減らしたいという企業サイドの意向も重なって、父親が積極的に育児にかかる動きは確実に広がっている。

「今や出産時の立ち会いを選択するものが当たり前になっているし、会社から家に帰る時間も早くなっています。そうした事情が子供と接す

案、普段に乗り出したのが始まりだ。最初にヒットしたのが幅広のベルトを肩から斜め掛けして赤ちゃんをだっこするフランス・フィル社製のトンガ・ベビーホルダーで、一年たつた今も三十歳前後の父親の支持を得てロングセラーを続けている。

また最近人気を呼んでいるのが、

岸社長がまず念頭に置いたのは先代社長のこんな言葉だった。

「会社は四輪車の運転のようなものである。一つは社員、一つは金融機関、一つは顧客、一つは協力工場。この四つの車をバランスよくハンドリングするのが経営者の役目である」

これを肝に銘じながら、

先代が築き上げた技術と信頼をバ

スにしながらも新たなベンチャ

ー企業をスタートさせる気持ちで動き出した。

これまでの年商は一掃、年商は二倍に

まで行つたのが製造のアウトソ

ーシング。それまで本社工場にあつた設備の半分を仕事とセットで協力工場に移管し、空いたスペー

スを物流を強化するために製品倉庫とした。そしてそれまでの製造

結果がダメなら仕方ないと。当時、商品を運ぶケースがほんとうに多くなっています」

こう語るのは、《お父さん

の子育てをもっと楽し

くしたい》をコンセプト

に、育児用品や知育玩具などを輸入販売するダッ

ドウェイの白鳥公彦社長(52)。設立は育児・介護休業法が施行され

た一九九二年。白鳥社長が自らの育児経験を生かして男性向け育児用品を考

みながら商品を選ぶということです」

（白鳥社長）

ダッドウェイのオリジナルで、折りたたむと指人形に変身するヨダレ掛け。実はこの商品、四月からニューヨーク近代美術館(MOMA)のミュージアムショップでも販売している。日本の美術や文化を紹介するジャパンウエークを開催するにあたり、MOMAが数ある日本のポップカルチャーの中からこれを選んだのだ。

「私たちが提供する商品は単なるグッズ

ではなく、コミニケーションツー

ルであり、アートのひとつだと考えています。だから子供にただ与えるのではなく一緒に遊んで、スキンシップをとるためにきつかけにしてほしい」と白鳥社長。

これは同社が商品を開発する際の基本スタンスでもある。

ダッドウェイは高島屋や伊勢丹など全国のデパートや専門店などに商品を卸しており、その商品は一〇〇〇アイテムにのぼる。

「商品開発では自分たちでアイデア

も出すが、海外の展示会を飛び回つて輸入するケースが多い。当然安全

性が最優先。そして大切なのは楽し

みながら商品を選ぶことです」

（白鳥社長）

つまり、これならお父さんも欲しくなるはずという「パパ目線」で

デザインや機能性を踏みし、実際に手に取らせるような商品を選んでい

るのだ。そうして開発された商品の

ひとつが「アルタバーグ」の玩具。

クラシックカーを模したメタルボディーの乗用玩

具で、子供用としてだけ

なく、お父さん自身が

購入していくケースもあ

るという。イギリスの「ベビーカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞した「マイクラ

ライト」のベビーカーもそうした商

品の一つだ。理由は、背の高い歐米

人仕様であること。つまり男性でも

背筋を伸ばしたまま押せるという格

好良さにある。もう一つが、男性的な独特なフォルムと頑丈さ。実際、大人が乗つてもびくともしない。こ

うした仕様がモノ・マニアックな若

い父親たちの好奇心を刺激する。

「この種の商品を購入するのは、多

くはママが財布を握り、選ぶのはパ

バというご夫婦です。おしゃれで生活にこだわりを持つ人たちで、これからますます増えていくはず」と

白鳥社長はいう。（本誌・坂本茂）

社員の若返りと年齢構成を平均化

させたため、しばらく行っていない

かつた新卒採用と中途採用を再開

した。これと並んで、少子化

への対応と人材強化の目的でベ

ンにしたことで債務超過の会社ながら金融機関からは常に協力的な

支援を得ることができた。

さらに設備投資に力を入れ、積

極的に最新機器を導入、製品の高

付加価値化を図った。その結果、

新規開拓先としてガソリン計量器、

真空機器(ポンプ)の内蔵部品の

受注を獲得。その特殊加工技術

(真空機器)をテーマに、二〇〇

六年一月、中小企業新事業活動促進法(経営革新計画)の認証を得た。

日本社と福島工場の幹部が毎月集

まり、月次で売上を検証しながら

用を皮切りに、現在一二名探

生が同社で働いている。

五年前の二名探

して、社長に就任する二年前

から始めたのが予算管理会議。東

京本社と福島工場の幹部が毎月集

まり、月次で売上を検証しながら

予算を徹底管理することにしたの

だ。いかに出を押さえるか。協力

工場への外注費、材料費、文具費

に至るまで、売上に対しても何ペー

セントの予算を組むかを全員で知

恵を絞り、月ごとに予算数字をは

じき出した。

さらに金融機関に対する役に立

つたのが岸社長が一〇年ほど前か

ら作成しているその期の総括と来

期の展望を売上、利益、営業面か

らみた報告書だ。これを見れば經

済(ジャーナリスト・小糸幹太)◎

会社概要  
○業種 油圧・空気圧機器部品などの製造、組立て  
○代表者 岸秀世司  
○設立 1958(昭和33)年9月  
○所在地 東京都高田馬場区白鳥4-2-15  
○TEL 03-3690-3851  
○売上高 約12億円  
○社員数 80名(パート含む)  
○URL http://www.sansel-ind.co.jp

会社概要  
会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要

会社概要